

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (地域住宅支援)

令和5年6月1日

計画の名称										1 津山城址を中心とした歴史的街なみの保存と住・生活環境整備					重点計画の該当							
計画の期間										令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)					交付対象		津山市					
計画の目標																						
津山城址周辺や東西に延びる出雲街道沿いを中心に歴史的街並みや建造物、道路空間、公共施設などを整備し、住・生活環境の維持向上と歴史的風致の維持向上を図り、市民一人ひとりが愛着と誇りを感じ、住み続けたいと思えるまちを創造する。																						
計画の成果目標 (定量的指標)																						
街なみ環境整備による中心市街地のにぎわいの回復：定点観測による生活者と来訪者の歩行者・自転車の通行量 R2年度対比50%増 (1,655人→2,482人) (※城東, 城西の3日間計) (R2年度通行量は新型コロナウイルス感染症の影響によりR元年度の値から約半減している。新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない中、従来の賑わいを取り戻すことに重点を置き目標値を設定する。)																						
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値					備考							
中心市街地地区通行量調査における城東地区、城西地区の歩行者、自転車等の通行量をもとに算出 (通行量の増加率) = (評価時点の通行量) / (R2調査時点の通行量) (%)										当初現況値 (R2当初)		中間目標値 (R5末)		最終目標値 (R7末)		調査は9月から10月にかけて土曜日、日曜日、月曜日の3日間で行う						
										100%		—		150%								
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		692百万円		A		692百万円		B		C		D		0百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)				
交付対象事業																						
A 基幹事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容・規模等			事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
1-A-1	住宅	一般	津山市	直/間	市/個人	津山市歴史的風致維持向上地区街なみ環境整備事業			通路整備、水路整備、地区防災施設整備、歴史的風致形成建造物整備、案内板整備、小公園整備等 面積：412.3ha			R3	R4	R5	R6	R7	692					
合計																	692					
B 関連社会資本整備事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名			事業内容			市町村名			事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
																R3	R4	R5	R6	R7		
合計																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考		
C 効果促進事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名			事業内容			市町村名			事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
																R3	R4	R5	R6	R7		
合計																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (面積等)			市町村名			事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
															R3	R4	R5	R6	R7			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	30	54			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	30	54			
前年度からの繰越額 (d)	11	9			
支払済額 (e)	32	31			
翌年度繰越額 (f)	9	32			
うち未契約繰越額 (g)	0	32			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	0.00%	50.79%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由		多目的広場整備事業において地権者との協議が難航し、年度内の予算執行が不可能となったため。			

社会資本整備総合交付金チェックシート

(街なみ環境整備を中心とした計画イメージ)

計画の名称: 津山城址を中心とした歴史的街なみの保存と住・生活環境の整備
 地方公共団体名: 津山市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
③景観形成を図るべき地域として位置付けられている又は位置付けられる予定である。 (地域名称等: <u>津山市歴史的風致維持向上計画重点区域</u>)	○
④地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
(該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 (イ) 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ 住宅・建築物の安全・安心確保 (ク) 良好な住環境の整備 (ケ) 地域の特色ある街並みの整備 (コ) その他(地域交流人口の増加)	
⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
③計画を公表することとしている。	○
④事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○